

第31回日本リウマチ・関節外科学会

第23回評議員会

平成15年11月7日(金)

午後5時～午後6時 京王プラザホテル

議 題

1、事務局報告

平成15年度会計報告、平成16年度会計予算、学会誌発行状況、会員状況、投稿原稿状況について、事務局から高橋 忍が報告した。

2、物故会員の黙祷施行

伊藤鉄夫先生(名誉会員)、三浦幸雄先生(名誉会員)、田島達也先生(名誉会員)
岡 正典先生(功労会員)、山本 潔先生、花岡俊行先生

3、優秀論文賞の報告

「骨溶解を有する人工股関節内関節液による破骨細胞形成は Osteoprotegerin によって抑制される」
東京女子医科大学 金子健次先生、他

「Effect of Glucosamine/Chondroitin Supplement on Osteoarthritis Involvement of PGE2 and YKL-40」

聖マリアンナ医科大学 中村 洋先生、他

4、名誉会員の発表と表彰

井村慎一先生(福井医科大学名誉教授)

杉岡洋一先生(九州労災病院院長)

酒匂 崇先生(酒匂クリニック院長)

柴田大法先生(市立宇和島病院院長)

信原克哉先生(信原病院院長)

山本吉蔵先生(博愛病院顧問)

工藤 洋先生(綾瀬厚生病院)

以上7氏が新名誉会員として推薦された。龍 順之助会長から推薦の後、満場一致で承認された。

5、功労会員の発表と表彰

以下3名の功労会員が新たに承認される。

上好昭孝先生、田島直也先生、玉置哲也先生（五十音順）

6、新評議員の推薦

以下の新評議員1名の推薦があり、了承された。

安藤謙一先生（藤田保健衛生大学）

推薦者

鈴木一太先生

7、第32回学会準備状況報告

平成16年10月1日（金）、10月2日（土）と「なら100年会館」「三井ガーデンホテル」で開催されることが、次期会長 高倉義典先生より報告された。

8、次次期会長より

次次期会長として、井上和彦先生（東京女子医科大学第2病院）より、平成17年学会開催するとのあいさつ。

9、次次次期会長の選出

次次次期会長として、会場からの推薦はなく、次回評議員会までに検討する。

10、会員の減少に対する対策についての意見

- ・理事会のあり方について疑問がある。「理事長」制をとってはどうか？
理事の数が少なすぎる。
- ・守屋前会長より評議員アンケートの結果説明。リウマチ外科より関節外科を主にした方がよい。「理事長」制に賛成する。
- ・会則など変更の委員会（あり方委員会）が必要では？
- ・とりあえず理事の数を10名程度にすればどうか。
- ・「関節外科学会」にするのがよい。理事は10名程度が良い。
- ・来年の評議員会までに理事会の責任で理事を10名にして報告する。
- ・「関節病学会」も良い。
- ・「関節病学会」が良い。
- ・現在は昔と違って、股関節学会などの分科会がある。関節の基礎学も含めた名称が

良い。「リウマチ・関節病学会」など

- ・「リウマチ」の名が消えていくのはやむを得ない。
- ・会員は減っても独自性を保つことが重要「リウマチ」の名を残した方が良い。
- ・「日本関節病学会」が良い。
- ・社会的ニーズに対応するには「外科」の名はなくした方が良い。

11, その他

新たな理事会（10名）で学会名について案をつくり、次回の評議員会にはかる。
（新たな理事5名は通信評議員会で決め、臨時理事会をひらく）

文責：幹事 高橋 忍